

広 報

みなみふらの

3

2024. MARCH No.816



沖縄県本部町交流事業（南富良野西小学校交流学習）（1月31日：国設南ふらのスキー場）

- P2 沖縄県本部町交流事業
- P3 まちの話題・出来事（厳冬の避難所を現地検証、大谷翔平選手のグローブが町内児童に贈られる、全国中学校スキー大会出場）
- P4 カメラレポート
- P5 カメラレポート、各公共施設（観光施設）使用料金の改正
- P6 教育委員会通信
- P7 南富高新聞、地域おこし協力隊の着任
- P8 ほのお
- P9 子育て支援センターだより
- P10 保育所の元気な子どもたち
- 地域おこし協力隊活動記②、寄附・寄贈



2月8日午前10時から翌日の午前10時までの2日にわたり、金山地区体育館（旧金山小学校体育館）で「冬季避難所実地検証」を実施しました。

実地検証は、厳冬期における避難所運営の実相を把握し確認するとともに、避難所生活や運営上の課題等を洗い出すことを目的に、町職員のほか上富良野町、中富良野町の地域防災マネージャー、陸上自衛隊上富良野駐屯地第4特科群第131特科大隊の隊員、地域住民の14名が参加しました。

当日の館内には、町が保有する防災資機材を使用して、寝泊まりする屋内テントや段ボールベッドを設置、寒さ対策には、オイルヒーター4台を設置し、段ボールベッドの寝心地や各時間ごとの館内の温度、湿度、二酸化炭素濃度に加え、参加者化からの所見より一酸化炭素濃度を計測しました。

実地検証の避難所には、多くの関係機関や町民の皆さんが視察に訪れ、本町防災マネージャーより、厳冬期の避難所や実地検証の目的、内容などが説明されたほか、自衛隊協力会南富良野支部女性部（鷹嘴充子部長）と自衛隊員が炊き出しを行った豚汁の試食が行われました。

町では今回の結果を踏まえ、防災関係の計画やマニュアルなどの見直しを検討し、今後の防災施策の充実を図ります。



南富良野小学校



南富良野西小学校



小林さん

厳冬の避難所を実地検証

2月8日午前10時から翌日の午前10時までの2日にわたり、金山地区体育館（旧金山小学校体育館）で「冬季避難所実地検証」を実施しました。

実地検証は、厳冬期における避難所運営の実相を把握し確認するとともに、避難所生活や運営上の課題等を洗い出すことを目的に、町職員のほか上富良野町、中富良野町の地域防災マネージャー、陸上自衛隊上富良野駐屯地第4特科群第131特科大隊の隊員、地域住民の14名が参加しました。

当日の館内には、町が保有する防災資機材を使用して、寝泊まりする屋内テントや段ボールベッドを設置、寒さ対策には、オイルヒーター4台を設置し、段ボールベッドの寝心地や各時間ごとの館内の温度、湿度、二酸化炭素濃度に加え、参加者化からの所見より一酸化炭素濃度を計測しました。

メジャーリーグの大谷翔平選手から全国の小学校に寄贈されたグローブが、年末に町教育委員会に届き、1月16日に南富良野小学校、17日に南富良野西小学校の児童に贈られました。

寄贈されたグローブは、大谷選手のサインが印字された右利き用2個と左利き用1個の組み合わせで、子ども達へのメッセージが込められた手紙が添えられています。

両小学校では、鈴木教育長から「このグローブが、私達の次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます」などと書かれた大谷選手の手書きメッセージを代読した後、グローブが手渡され早速児童がキャッチボールを披露し、みんな嬉しいような表情で眺めていました。

最後に、児童の代表が「大谷選手のように夢を持てるよう頑張っていきます」と感謝の気持ちが伝えられました。

大谷翔平選手のグローブが町内児童に贈られる



ワカサギ釣り体験（かなやま湖）



▲本部町児童のエイサー披露（歓迎会）



▲南富良野小学校との交流学習



▲スキー体験

「友好の町」沖縄県本部町と、平成3年から子どもたちの交流事業が行われています。

31回目を迎えた今年は、1月29日から2月2日まで4泊5日の日程で、本部町から23名の交流団の皆さん（小学5年生16名、随行者7名）が本町を訪れ、町内の児童と交流を深め、冬の北海道を体験しました。

交流団の皆さんは、初日、本部町を早朝に出発し、午後2時半過ぎに本町に到着しました。

初日の夜に保健福祉センター「みなくる」で開かれた歓迎会では、高橋町長の歓迎挨拶に続き、本部町交流団喜納団長から「南富良野町の皆さんとの交流を通して、子ども達の成長を期待しています」と挨拶されました。本部町の児童からは「スキーやワカサギ釣りにチャレンジしたいです」「学校やホームステイで交

流を深め、生活文化の違いなど学びたいです」と一人ひとりから自己紹介や交流事業の抱負が発表された後、琉球舞踊、琉球空手、エイサーが元気に披露され、会場から大きな拍手を浴びていました。

2日目、午前中に南富良野小学校を訪れ、交流会や5年生児童との交流学習が行われ、雪遊びなどで交流を深めました。午後からは、北海道の生活ならではの機械を使用した除雪体験のほか、空知川スポーツリンクスでカーリングを体験し、悪戦苦闘しながらも最後にはミニゲームを楽しみました。

3日目は、午前8時からかなやま湖でワカサギ釣りを体験し、たくさん釣り上げたワカサギを試食しました。午前10時からは、本部町の児童がとも楽しみにしていたスキー体験を行い、南富良野西小学校の児童及び先生方やスキー連盟の皆さんな

どから指導を受け、全員が滑れるようになりました。また、夜には新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていたホームステイが4年ぶりに行われ、各家庭で交流を深めました。

4日目、交流団の児童はホームステイ先の家族に見送られ、本町を離れ札幌市に移動しました。札幌市内では、札幌時計台やテレビ塔などを見学し、夜は北海道名物のジンギスカンを味わい、宿泊先のホテルまで地下鉄の乗車体験を行いました。

最終日、たくさんさんの思い出を胸に新千歳空港から沖縄県本部町への帰路につきました。

今年6月下旬には、本町の6年生が、南富良野町の交流団として本部町を訪問する予定になっています。

全国中学校スキー大会出場南富良野中学校小林瑛介さん

長野県野沢温泉スキー場で開催された「第61回全国中学校スキー大会」アルペンジャイアントスラローム競技に出場を果たした南富良野中学校小林瑛介さん（2年生）が、1月17日に役場を訪れ、鈴木教育長に出場の報告をされました。

小林さんは、夏場の体幹を鍛える練習の成果もあり、1月12日に開催された全道大会の同種目で6位に入り、全国大会の出場を決め、教育長への報告では、力強く「優勝を狙いたい」と全国大会への抱負を話しました。

冬のかなやま湖をアイスクャンドルで彩る （2月10日）

南富良野まちづくり観光協会、南富良野町振興公社南富良野アイスクャンドル愛好会(川村拓志会長)が、かなやま湖畔キャンプ場で「アイスクャンドルナイト」を開催しました。

この企画は観光庁の事業に採択され、外国人誘客と町民の皆さんに楽しんでもらうことを目的に実施され、会場では「アイスクャンドル」や「ろうそくキャンドル」、「スウェーデントーチ」に火が灯されるとともに、キャンプ場内の柳の木がライトアップされ、午後6時には花火が打ち上げられました。当日は海外からのツアー客20人のほか、町内外から多くの方が訪れ幻想的な風景を楽しんでいました。



各公共施設(観光施設) 使用料金の改正のお知らせ

近年のエネルギー価格や資材等の物価高、人件費の高騰により下記の施設については、厳しい経営状況となっています。このことから収支の軽減を図り、持続的な経営と施設の維持管理を適正に行うため、**令和6年4月1日より**下記のとおり使用料金の一部を改正させていただきますので、町民皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

○国設南富良野スキー場

名 称	現 行		改 正 後	
リフトシーズン券（町民を除く）	大人	—	大人	15,000円
	小人	—	小人	7,500円

※小人は中学生以下

○かなやま湖保養センター

名 称		現 行		改 正 後	
浴 室	1 人 1 入館につき	幼 児	無 料	幼 児	100円
		小学生	200円	小学生	250円
		中学生以上	410円	中学生以上	500円
	回数券（6 回券）	小学生	1,040円	幼 児	500円
				小学生	1,200円
		中学生以上	2,090円	中学生以上	2,500円

○かなやま湖畔キャンプ場

名 称		現 行		改 正 後	
キャンプサイト	大人（中学生以上）	1泊	620円	1泊	1,000円
		日帰り	250円	日帰り	500円
	小 人 ※小学生未満は無料	1泊	250円	1泊	500円
		日帰り	130円	日帰り	300円
バンガロー		1棟	2,610円	1棟	3,600円

○かなやま湖畔オートキャンプ場

名 称		現 行		改 正 後	
		キャンプ	デイキャンプ	キャンプ	デイキャンプ
入場料（連泊の場合 は初日のみ徴収）	大人（中学生以上：1人）	830円	410円	1,200円	600円
	小人（1人）※小学生未満は無料	410円	200円	600円	300円
キャンピングカーサイト（1サイト1回）		4,190円	2,090円	6,200円	3,100円
スタンダードサイト（1サイト1回）		3,140円	1,570円	4,700円	2,300円

問い合わせ先 企画課商工観光係 電話 52-2115

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどがありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

カメラレポート

ちびっこスキー教室 （1月21日・2月3日）

町社会福祉協議会が主催する「ちびっこスキー教室」が国設南ふらのスキー場で行われました。この教室は就学間近の幼児を対象に毎年実施され、2週にわたり2日間で延べ24名の子ども達が参加しました。スキー指導員会、スキー連盟、スキーパトロール奉仕団、町内有志の皆さんがマンツーマンで指導にあたり、スキーの履き方から楽しく安全に滑る方法を教わっていました。



農業セミナー開催 （1月26日）

町営農推進協議会主催の農業セミナーが、保健福祉センター「みなくる」で開催され、町内営農者や関係者など多くの方が出席されました。セミナーでは、町内の鳥獣による農作物の被害状況が報告されたほか、講演を2部に分け、1部では特定非営利活動法人もりねっと北海道 山本 牧代表に「里に近づくヒグマの背景と対策について」、2部ではサージミヤワキ(株)寺山凜氏を講師として「電気牧柵管理と鳥獣対策について」と題した講演が行われ、参加者からは質問や活発な意見が交わされました。



テーブルマナーを学ぶ （1月30日）

町振興公社の地域貢献事業の一環として、ログホテルラチに南富良野高等学校の本年度卒業を迎える3年生3名を招待し、「テーブルマナー講習」が行われました。生徒の皆さんは、ホテルラチのスタッフから、マナーの基本や料理について説明を受け、緊張気味にナイフとフォークを使って、順に運ばれてくるコース料理を味わい、テーブルマナーを学びました。講習会の最後には、お世話になったスタッフの皆さんに、生徒からお礼が述べられました。



雪煙をあげ果敢に挑戦 （2月10日）

南富良野町スキー連盟主催による第43回かなやま湖畔ジュニアスラローム競技大会が、国設南ふらのスキー場を会場に開催されました。大会には、地元や富良野沿線をはじめ、道内各地から幼児と小学生が多数出場し、雪煙をあげながら旗門に果敢に挑戦して、各学年男女別にタイムが争われました。



南富高新聞

第82号

発行
南富良野高等学校

小中高生による意見交流会を 町長に報告

1月30日（火）に、本校と南富良野中学校の生徒会長が南富良野町役場を訪問し、高橋秀樹町長に小中高による「異校種交流会」のまとめを報告しました。

12月に行われた異校種交流会では、「南富良野町の魅力」、「南富良野町の良い所をどのように広めていくか」などについて町内小中高の児童会、生徒会の役員がグループに分かれて意見を交わしました。

「町のイメージキャラクター南ちゃんをユーチューバーにして動画投稿を



始めては？」や「珍しい動植物の写真や動画を投稿しては？」など、若者らしいSNSを活用したアイデアも多く含まれた報告がされました。

高橋町長からは「ぜひ今回出たアイデアの中から、さらに深掘りし実現化を目指すアクションを起こしてください」と激励の言葉をいただきました。

南富良野高校生徒会長の加藤久陽君からは今回の報告で「年齢層の違う話し合いの場は、とても良い刺激になるし、思いつきもしないような新たな意見が生まれるきっかけになると思います」という感想も伝えられました。

今回新たに立ち上げられた小中高の交流は、来年度はさらに拡大させる計画を現在進めています。南富良野町の児童生徒が主役になり、「町の元気」を創っていききたいと思います。



▲左から：高橋町長、加藤久陽 生徒会長（南富高）
由利仁菜 生徒会長（南富中）

本町の地域おこし協力隊として いずみ まさゆき 「和泉 昌孝さん」が着任されました

本町の観光客誘客やまちの活性化などを図る「観光推進員」として、2月1日付で地域おこし協力隊が着任されましたので紹介します。



「観光推進員」和泉 昌孝

○出身地 兵庫県西宮市

○趣 味 ロードバイク、スキー、釣り、キャンプ、音楽

○町民の皆さんへ

長年旅行会社にて旅行商品企画を担当しお客様への満足していただく商品追求して参りました。

観光を通じてご当地「南富良野町」へ沢山のお客様にお越しいただくため、イベントなどの企画を実施し町の活性化に汗を流していきます。

関西弁が強めですが、どうぞよろしく願いいたします。

教育委員会通信

学校教育係・生涯学習係
☎52-2145

町の文化財や史跡について紹介します 第18回目は「金山ダム記念碑」です。

※第17回目「官設渡船場跡」は2月号に掲載しています。

昭和43年9月16日にかなやま湖畔鹿越園地に金山ダム記念碑として建立された。

弟子屈生まれで、戦前戦後を通じ一貫して生活者の視点で詩や散文を書き続けた更科源蔵が詠った「水色のふるさと」の歌碑がある。

「南富良野町史第2巻」から引用抜粋



現在の金山ダム記念碑（鹿越園地）

金山ダム記念碑の歴史は、町史に詳しく記載されています。下記QRコードからご覧ください。



町史第2巻

※南富良野町ホームページ内サイト(生涯学習係)にて史跡情報を掲載しています。

放課後児童クラブ「ジャングルクラブ」・放課後子ども教室「サバンナ・フレンド」について

＜町内の放課後児童クラブ・町内の放課後子ども教室＞

・放課後児童クラブ「ジャングルクラブ」 南富良野小学校区(現運営場所:南富良野小学校体育館併設)

開所時間 下 校 時 ～ 17時30分

対 象 小学1年生 ～ 小学3年生

問い合わせ 保健福祉課すこやかこども室(52-2211)

・放課後子ども教室「サバンナ」 南富良野小学校区(現運営場所:町民体育館プレイルーム)

開所時間 下 校 時 ～ 17時00分

対 象 小学4年生 ～ 小学6年生

問い合わせ 教育委員会生涯学習係(52-2145)

・放課後子ども教室「フレンド」 南富良野西小学校区(現運営場所:南富良野西小学校音楽室)

開所時間 下 校 時 ～ 17時00分

対 象 小学1年生 ～ 小学6年生

問い合わせ 教育委員会生涯学習係(52-2145)

放課後児童クラブとは？

ジャングルクラブは、南富良野小学校1年生～3年生を対象とし、保護者等がお仕事で昼間家庭にいない小学生を放課後児童支援員が常駐する施設で預かり、放課後や学校休業日における友達との遊びや生活を支援し、安全で安心な居場所を提供します。入会には申込が必要になります。

放課後子ども教室とは？

サバンナは、南富良野小学校4年生～6年生、フレンドは、南富良野西小学校児童全員を対象とし放課後や長期休業等に、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供しています。入会には申込が必要になります。

趣味やサークル活動の成果を発表 (作品展示)しませんか？

保健福祉センターみなくろの1階ロビーに展示する作品を募集します。展示作品は、木工や絵画・書道作品などの趣味や団体活動で作製されたものであればジャンルは問いません。

詳しくは、教育委員会生涯学習(52-2145)までお問い合わせください。

3月になり春の足音がもうすぐ聞こえるでしょうか。卒園、卒業のシーズンを迎え、この1年を振り返るとお子さんの体と心の成長を感じていることと思います。支援センターの活動を通してたくさんの親子とふれ合い、お子さんの成長を見守っていける場所にしたいと思っています。



☆ぷっこクラブ (新年会)

魚釣りや射的、福笑いのゲームをしてみんなで1年の始まりを楽しく過ごしました。



☆ぷっこクラブ (節分豆まき)

いざ！鬼退治！と思ったら鬼が怖くてお母さんの後ろにかくれちゃった？



☆茶話会

お母さん達はお茶を飲みながらゆっくり交流、子ども達は元気いっぱい遊んでいます。



☆育児講演会 (ヨガ)

先生は参加者一人ひとり丁寧に教えてくれます。

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

1月中旬、新年カルタ会を行いました。子ども達は、カルタを親しみながら白熱した戦いを繰り広げていました。楽しいひと時を過ごした後は、みんなでおいしいみかんを食べて、これからの健康と幸せを願いました。



金山保育所

1月下旬、保護者や兄弟達と一緒に雪中運動会を行いました。親子ソリリレーやお菓子探し、今年はスノーモービルの試乗体験も行いました。初めて乗った子もいましたが、「ちょっと怖かったけど楽しかった～！」と嬉しそうに話していました。主催者



南富良野消防団 女性・男性 消防団員募集

消防団の現状

消防団員数は、日本全体で減少傾向にあり、私たちの住む南富良野町も例外ではありません。しかし、大規模災害時の消防団員による住民の避難誘導や火災発生時の消火活動など、地域の防災体制の中心として、地域住民の安心安全の確保のために消防団が果たす役割はとて大きくなっています。

南富良野町は、湖を中心に点在する集落により構成される町です。それぞれの集落間には距離があり、火災などの災害発生時に消防支署から現場に到着するまで相応の時間を要します。また、大規模災害発生時には、消防職員だけでは人手が足りず、消防団による協力が必要不可欠です。



模擬火災訓練 防火パレード

消防団の主な活動

- ・定期訓練(月1回)
- ・春と秋の模擬火災訓練
- ・出初式(1月)
- ・演習訓練(7月)
- ・災害発生時の防災活動

日常的な拘束時間はありません！！



令和6年 消防出初式における観閲

南富良野消防団(令和6年1月1日現在)

本部(団長・副団長)	2名
第1分団(幾寅・東鹿越・北落合)	17名
第2分団(落合)	13名
第3分団(下金山)	15名
第4分団(金山)	10名
	計57名

定員は70名です。

13名不足



南富良野消防団はあなたの力を必要としています。



南富良野支署出動件数 (令和6年1月1日～1月31日)

- 救急出動 19件 (うちドクターヘリ要請件数 3件)
- 火災出動 0件 (うち他市町村応援出動 0件)
- 救助出動 0件

地域おこし協力隊活動記②

本町では、5名の「地域おこし協力隊」が町の振興や発展のため活動しています。その活動内容や様子を町民の皆さんに紹介します。

むとう まゆ

武藤真友 隊員（特産品普及促進員）

皆さん、こんにちは。南富良野町地域おこし協力隊の武藤真友です。

昨年の10月にこの美しい町に来てから、日々の業務と自然の豊かさに魅了されています。



私の主な業務は、農産物加工センターでの事務作業ですが、町の特産品（農産物加工品：バタジャガ、スイートコーンなど）の受注管理や発送、顧客対応なども行っています。また、個人的にはSNSを通じて南富良野の魅力を積極的に発信しています。スキー場での楽しみや地元のイベントへの参加など、町での生活を全力で楽しんでいます。趣味でロードバイクに乗っているので、雪解

けも待ち遠しいです。町内を走り回り、自然を満喫するのが楽しみです。春が来れば、風を感じながらのサイクリングで、さらに南富良野町の素晴らしさを体感できるでしょう。

そして、2月末からは地域おこし協力隊として新たに挑戦を始めます。町内を回り、SNSの登録サポートやスマホに関するお悩み相談に応じる活動を、同じ地域おこし協力隊中谷仁彦さんと行っていく予定です。この活動を通じて、町民の皆さまがデジタルツールをより身近に感じ活用できるようサポートしていきたいと思っています。

これからも、南富良野町の魅力を内外に広め、地域おこしに貢献するために頑張ります。地域の皆さまと一緒に南富良野町を盛り上げていきましょう。

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもつて厚くお礼申し上げます。

南富良野町へ

まちづくり応援寄附金（企業版）

○札幌市 ホクレン農業協同組合連合会 様

一味園・からまつ園・こぎんら園・ふく

しあへ

○富良野市 後藤 宗男 様

○旭川市 高橋 實 様

○剣淵町 平川 覚 様

○新十津川町 (有)アステコーポレーション 様

○清水町 村上 義政 様

○芽室町 辻 経之 様

○帯広市 菅野 京子 様

○更別村 阿部 郁子 様

○大樹町 山内 艸太郎 様

○幌浦町 大野 健一 様
○札幌市 豊田 一雄 様
○小樽市 前北 一洋 様

★お悔やみ申し上げます

幾寅 荒木 佐津子（87）

令和6年1月9日逝去

南 わたしたちのまち

（令和6年1月末日現在）

人口 2,286人（△2）

男 1,167人（0）

女 1,119人（△2）

世帯数 1,316戸（△3）

（ ）内は前月比